

旅 アト

世界の課題や取り組み事例について調べてみよう。

- SDGs先進都市(SDGs達成度の高い都市)の特徴
- 都市が抱える問題
- 特徴的な街づくりや施設 など

身近な課題や取り組み事例について調べてみよう。

- 相対的な貧困について調べてみよう
- 産後うつや自宅での死亡率を調べてみよう

SDGsゴールを自分の言葉で訳してみよう。



Good Health and Well-being
 Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages

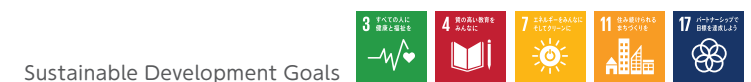
〈参考:外務省訳〉「すべての人に健康と福祉を」 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

富山市の事例をもとに地域や世界に対して、自分でできることを考えてみよう。

都市の理想を、富山から。



少子高齢化時代におけるまちづくりと人々の暮らし 総曲輪レガートスクエア



- ◎健康・福祉の推進、子育て環境の充実
- ◎地域が一体となって、子育て・教育に取り組む街
- ◎「ヘルシー&交流シティ」の形成
- ◎質の高いライフ・ワークスタイルの確立



- 少子高齢化による人口減少社会

富山市中心部の一等地、総曲輪のまちなかにある、乳幼児から高齢者まで地域の人々が健康で安心した生活を送ることができるよう健康・子育て・教育に取り組める「ヘルシー&交流シティ」の拠点として利用できる複合型施設「総曲輪レガートスクエア」。ここは、少子化に伴う学校再編で空地となった小学校の跡地を利用して整備されました。

中央の富山市まちなか総合ケアセンターでは、子育て支援から在宅医療に渡る総合的な福祉・医療サービスの提供を行い、敷地内の民間企業、団体とのパートナーシップで健康づくりに関するプログラムを行っています。

富山市医師会看護専門学校やリハビリや調理製菓について学ぶ専門学校も敷地内にあり、一時は全校児童100人に満たなかった小学校跡地に、いまや600人を超える専門学校生が学び、多くの方が行き来する場所となりました。

みどり豊かな中庭や屋上のギャザリングスペース、学生レストランなどがあり、イタリア語で「結びつき」を意味するレガートの文字通り、地域や人と人がつながりあい、まちなかの賑わいを見せる場となっています。



地域の子どもたちに向けた体験イベントや、地域の方と花壇に季節の花を植えるイベント等を開催

旅 マエ

考えてみよう。調べてみよう。わからないことを書き出してみよう。

- QOL、ウェルビーイング、ライフステージという言葉の意味がわかるかな？
- 親になったとき、歳をとった時にどんなことが心配か考えてみよう

年 組 名 前

コンパクトシティ

富山市は中心市街地において、児童の減少に伴い7つあった市立の小学校を2校に統合しました。貴重な都心のまとまった各小学校の跡地は、富山市の中心施策であるコンパクトシティを目指し、活用しており、それぞれの地域の実情に応じた施設の再整備などを行ってきました。

クオリティ・オブ・ライフの推進拠点として

総曲輪小学校跡地については、富山市の中心市街地の中心に位置する土地にあり、中心市街地の活性化に向けた重要な資産であると考えていました。そこで、「質の高いライフスタイル」の実現に向けて、安心して子どもを産み育てることができ、高齢者の暮らしを支えることを目的とした複合施設である「まちなか総合ケアセンター」を中心とした、多くの人が賑わい多様な世代が健康的に暮らせる拠点としてPPP手法*による整備を行うこととし平成25年度から取り組んできました。

PPPとは行政 (Public) が行う各種行政サービスと、行政と民間 (Private) が連携 (Partnership) し、民間の持つ多種多様なノウハウ・技術を活用することでサービスの向上、資金の効率的使用や業務効率化を図ろうとする手法です。

*PPP: Public Private Partnership (パブリック・プライベート・パートナーシップ)

◎パートナーシップで実現

レガートスクエアに関わる企業やNPOにより協議会が設けられ、住民と企業NPOが協働して少子高齢化や賑わいづくりなど社会を取り巻く課題の解決と世代間の交流が生まれ地域コミュニティを活性化する活動を展開しています。

●施設内マップ



総曲輪
レガートスクエア
協議会
構成企業・施設



富山市まちなか総合ケアセンター



大和リース株式会社



学校法人 青池学園



富山市医師会看護専門学校



グンゼスポーツ株式会社



株式会社 広貫堂



一般社団法人 新草会



認定NPO法人まちづくりスポット (まちスポとやま)

気になったことを書いてみよう。

富山市まちなか総合ケアセンターとは

富山市まちなか総合ケアセンターでは、子育て支援や、在宅医療、地域コミュニティ (ソーシャルキャピタル) の醸成などを推進するための事業を展開し、乳幼児から高齢者、障害者を含む、全ての地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進します。

さらに、総曲輪レガートスクエア内の民間施設と協働事業を展開し、行政や大学、企業、NPO法人、地域住民などが一体的、持続的に健康まちづくりに取り組む仕組みを創出することを目指しています。

まちなかサロン

市民に開かれた自主活動を行う個人や団体が、地域コミュニティの活性化等を目的にイベントや講座を開催。多世代にわたる市民が交流しています。



産後ケア応援室

産後のお母さんの心身の回復と、お子さんとの新しい生活を安心して過ごすことができるようサポートします。



病児保育室

お子さんが体調を崩し、保護者が仕事などで家庭保育できない場合、保護者の代わりに保育看護を行います。



まちなか診療所

訪問診療など、在宅医療のみを行う診療所です。(外来診療は行いません)



医療介護連携室

まちなか診療所の診療相談をはじめ、在宅医療・医療介護連携などに関する相談支援、研修会を行います。



地域連携室

健康づくり、介護予防、在宅医療や介護などに関する研修会を行います。



こども発達支援室

心身の発達の遅れが心配されるお子さんへの早期支援と保護者の不安軽減を図るため、相談や訓練など、切れ目ない支援を行います。

